

「リモートメンテナンス現場実証」に関する公募

応募資料作成要領

1. 応募に必要な書類

応募にあたって必要となる書類は、以下のとおりである。

- ① 参加表明書（応募様式－1）
- ② 申請書（応募様式－2）
- ③ 評価項目表（応募様式－3）
- ④ 見積書（任意様式）
- ⑤ 計器を撮影した画像データ（jpg 形式）
- ⑥ その他参考資料（任意）

【留意事項】

- (1) 提出書類①、②、③、④は A4 版とする。⑤は jpg 形式のデータで提出すること。
⑥は原則 A4 版とするが、パンフレット等で A4 版では判読できない等の不都合が生じる場合は、この限りではない。また、通し番号を記入すること。
- (2) 資料の追加提出等を応募者に求めることがある。

様式は、以下ホームページよりダウンロードすることができる。

ホームページ URL : https://www.mlit.go.jp/tec/tec_fr_000148.html

応募書類に使用する言語は日本語とする。やむを得ず他国の資料を提出する場合は、日本語の解説を加えること。

2. 各書類の作成要領

① 参加表明書（応募様式－1）

- 1) 応募者は、公募要領で定義する開発者とする。なお、共同開発者がいる場合は、応募に際して共同開発者の同意を得ていること。
企業名とその代表者の役職並びに氏名を記入すること。
複数者が共同で応募する場合は、応募者毎に必要な事項を列記するものとするが、応募者の代表者を最初に記載するものとする。
- 2) 「1. 機器名称」は、製品名を記載すること
- 3) 「2. 担当窓口者」は、応募にあたっての事務窓口・連絡担当者 1 名を記入すること。
複数者が共同で応募する場合については、応募者毎に窓口担当者 1 名を列記するものとするが、窓口担当者の代表者を最初に記載すること。なお、応募者が複数の場合における選定結果の通知は、窓口担当者の代表者に送付する。
- 4) 「3. 共同開発者」は、共同開発を行った応募者以外の個人や民間企業、行政機関等について記入すること。なお、共同開発者がいない場合は記入を要しない。共同開発者が複数の場合は、共同開発者毎に必要な事項を列記すること。

② 申請書（応募様式－ 2）

作成要領は、(1) 参加表明書と同様とする。「2. 窓口担当者」は、選定結果の通知先とする。

③ 評価項目表（応募様式－ 3）

各評価項目について、応募する機器の性能を評価欄に記入すること。(①、②等の数字で記入) 備考欄に「(別途資料提出必要)」とあるものは、評価を客観的に確認できる資料(写真等)を添付すること。

④ 見積書（任意様式）

本現場実証に必要な概算費用の見積書を提出すること。

内訳は以下を基本とし、それぞれの費用を記入したものとする。

なお、リモートメンテナンス機器が通信に使用する、携帯電話回線、衛星回線、国土交通省自営通信回線は本実証の実施者(扶桑電通株式会社)が準備するため、見積りに含まないものとする。

- 1) リモートメンテナンス機器の費用(ライセンス費用、クラウドサーバ等の使用料を含む)
- 2) リモートメンテナンス機器の実証場所までの運搬(往復)に係る費用
- 3) リモートメンテナンス機器の手配、組立、設定、操作説明等に係る費用
- 4) 現場実証の現場立合い、準備に係る費用(人件費、交通費、宿泊費等)
- 5) 打合せに係る費用
- 6) 諸経費
- 7) その他、本実証実験の実施に必要な費用

⑤ 計器を撮影した画像データ

ホームページに掲載している計器の画像データ(JPG形式)をA4用紙に印刷し、それをリモートメンテナンス機器で撮影したデータを提出すること。撮影は「リモートメンテナンス機器仕様書」に記載している低画素数で行うこと。なお、提出された画像データは評価に影響することはない。

⑥ その他参考資料(任意)

その他、応募機器の説明に必要な資料、パンフレット、技術的に優れた点を記述した資料があれば提出すること。